

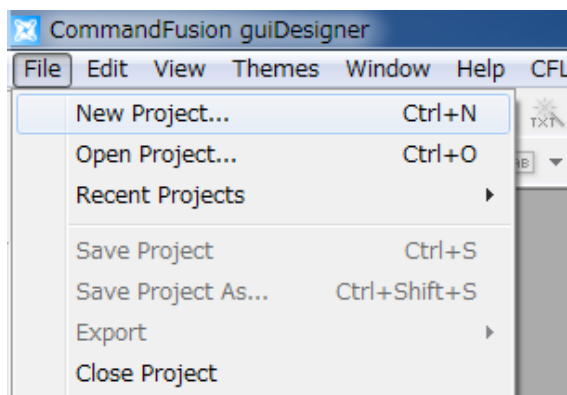
コマンドフュージョンシステムの画面作成はGUI Designerより行います。

1. GUI Designerを起動します。

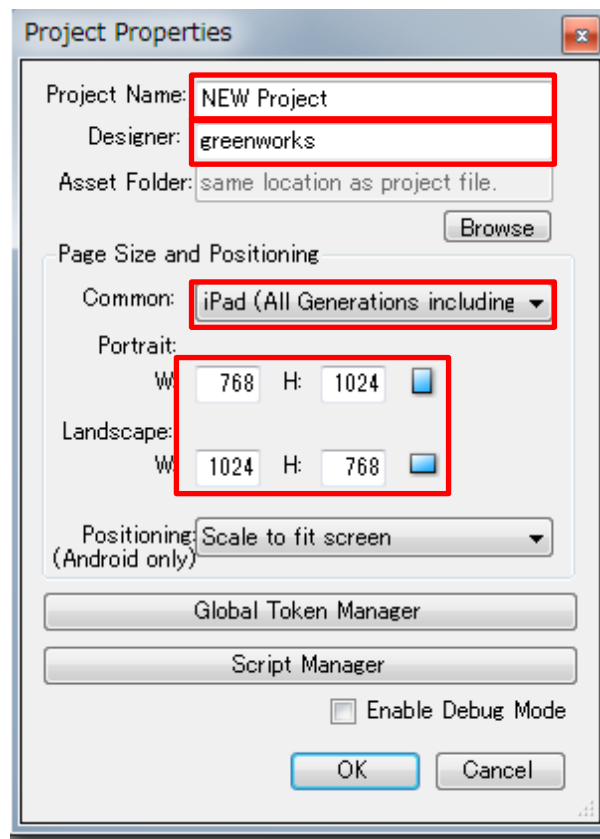
<https://www.commandfusion.com/software/guidesigner>



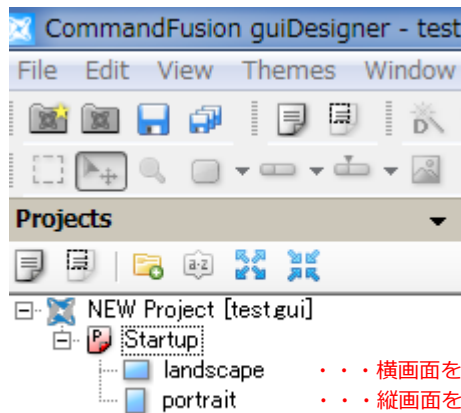
2. 「File」 → 「NEW Project」を選択し、プロジェクト名を入力します。



3. プロジェクトプロパティを入力し、画面サイズを選択します。

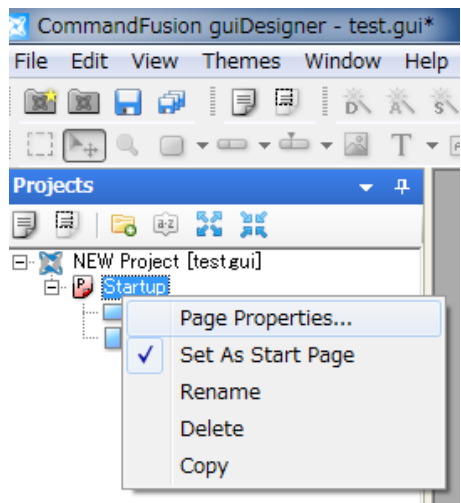


ページの作成



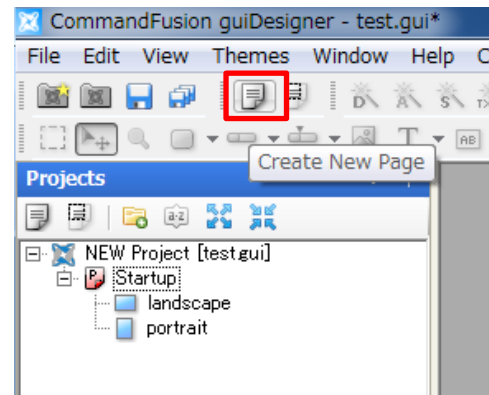
- ・・・横画面を作成します
- ・・・縦画面を作成します

項目を選択し右クリックするとプロパティ設定や削除・コピーが可能です。



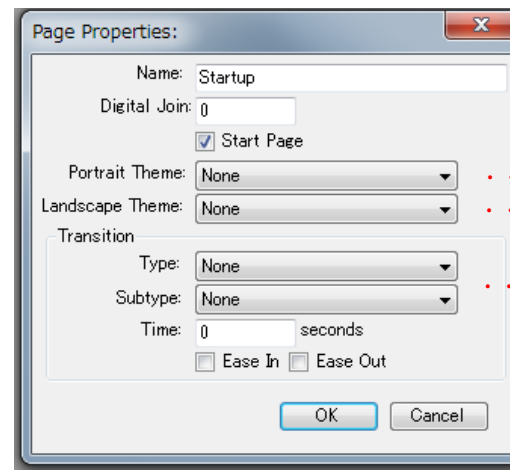
- ・・・ページのプロパティ設定
- ・・・アプリ起動時の初期画面に設定します
- ・・・選択ページのリネーム・消去・コピー

ページを追加する



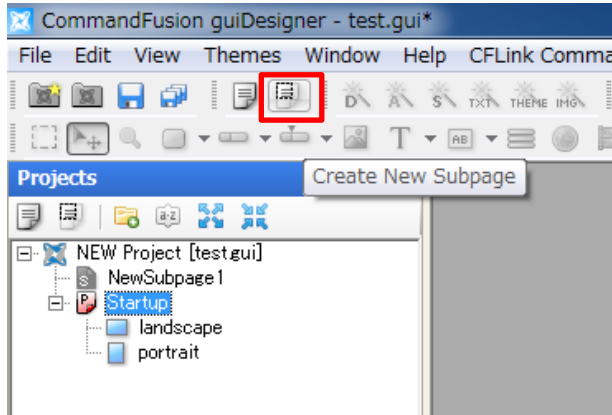
※既存ページからコピーで追加も可能です。

ページプロパティ

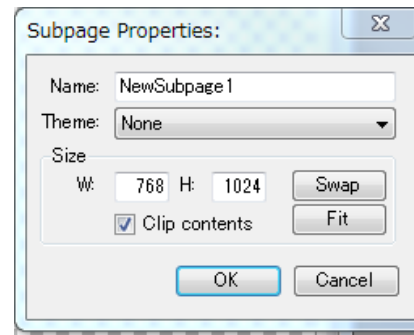
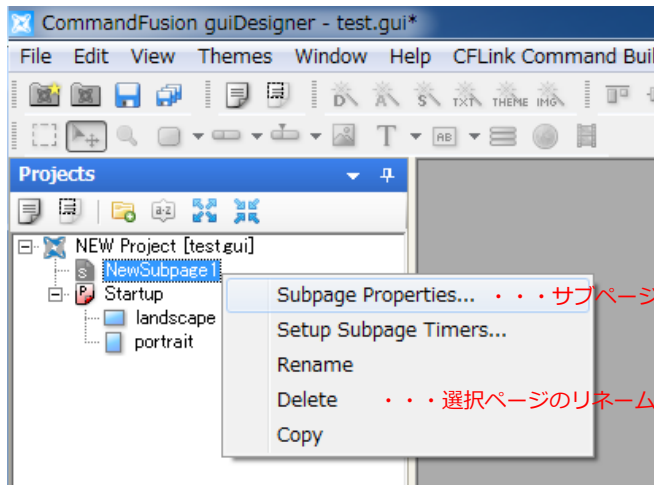


- ・・・縦画面のテーマを選択します
- ・・・横画面のテーマを選択します
- ・・・画面を表示する際のトラジションを設定します

サブページの作成



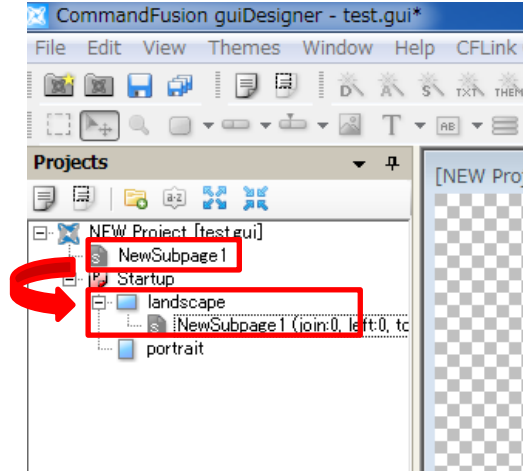
項目を選択し右クリックするとプロパティ設定や削除・コピーが可能です。



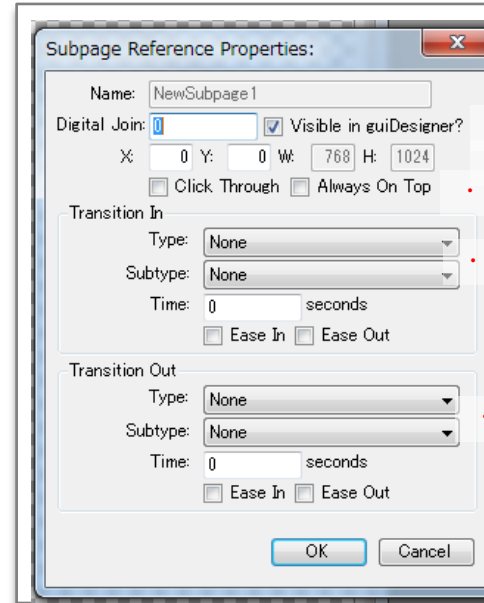
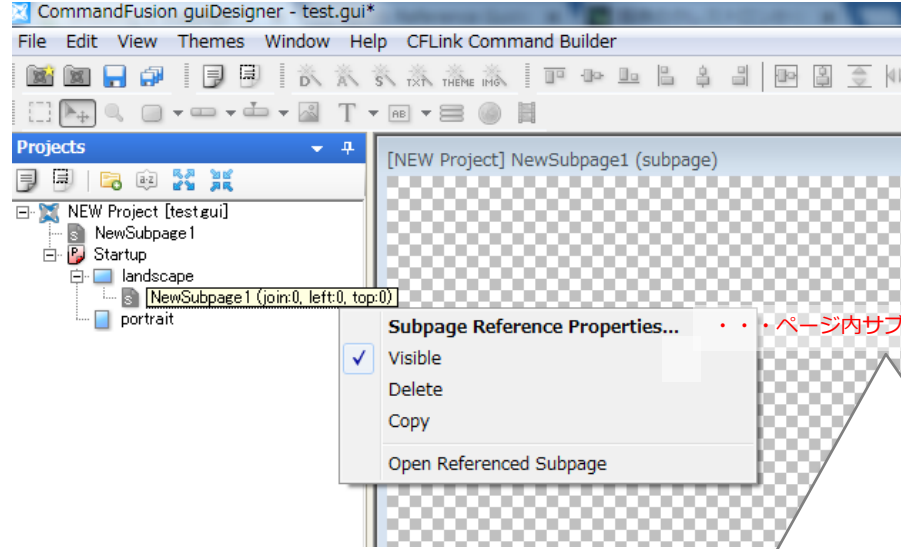
- ・・・サブページの名前を入力します
- ・・・サブページのテーマを選択します
- ・・・サブページのサイズを入力します

ページ内にサブページを設定する

表示したいページヘドラッグドロップします。



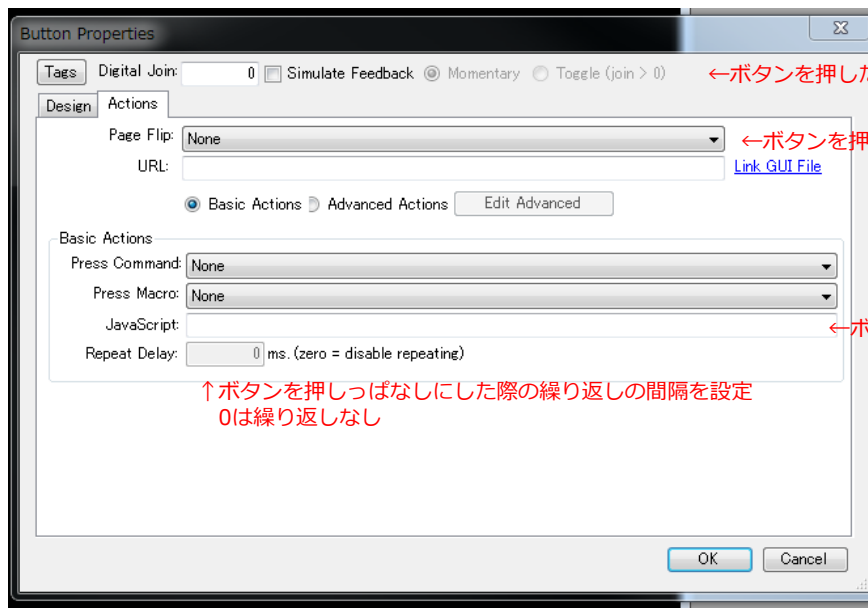
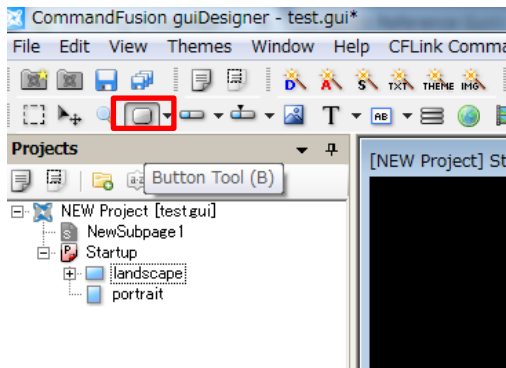
ページ内にドラッグしたサブページを右クリックすることで各種設定が可能です。



- ・・・サブページを表示する際のジョイン番号
- ・・・サブページの位置を設定
- ・・・サブページのレイヤー設定とクリック時に透過するか
- ・・・サブページを表示する際のトラジション設定
- ・・・サブページを終了する際のトラジション設定

ボタン (アイコン) をつくる

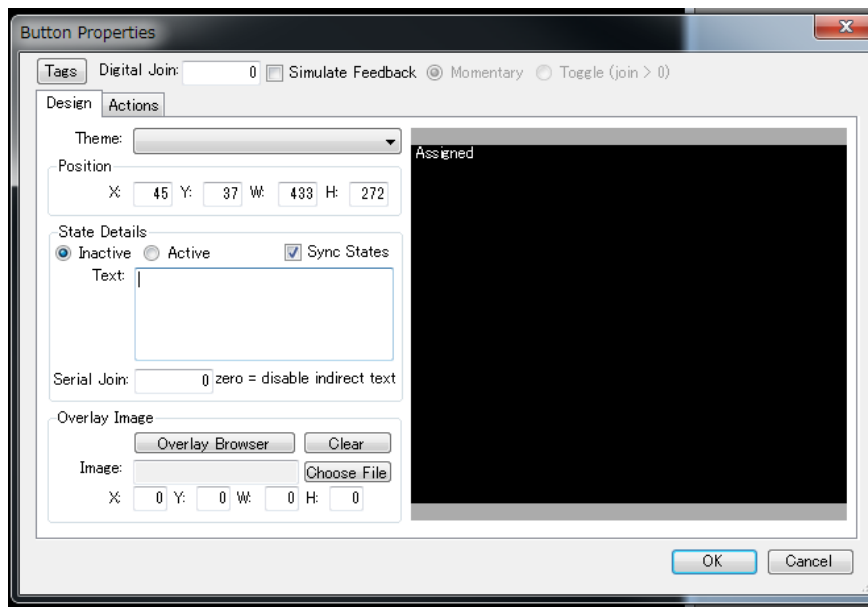
ボタンツールを選択し、画面内でドラッグします。



ボタンのテーマを設定→

ボタンのポジション・サイズを設定→

ボタンに表示するテキストを入力→
※全角日本語の入力も可能です

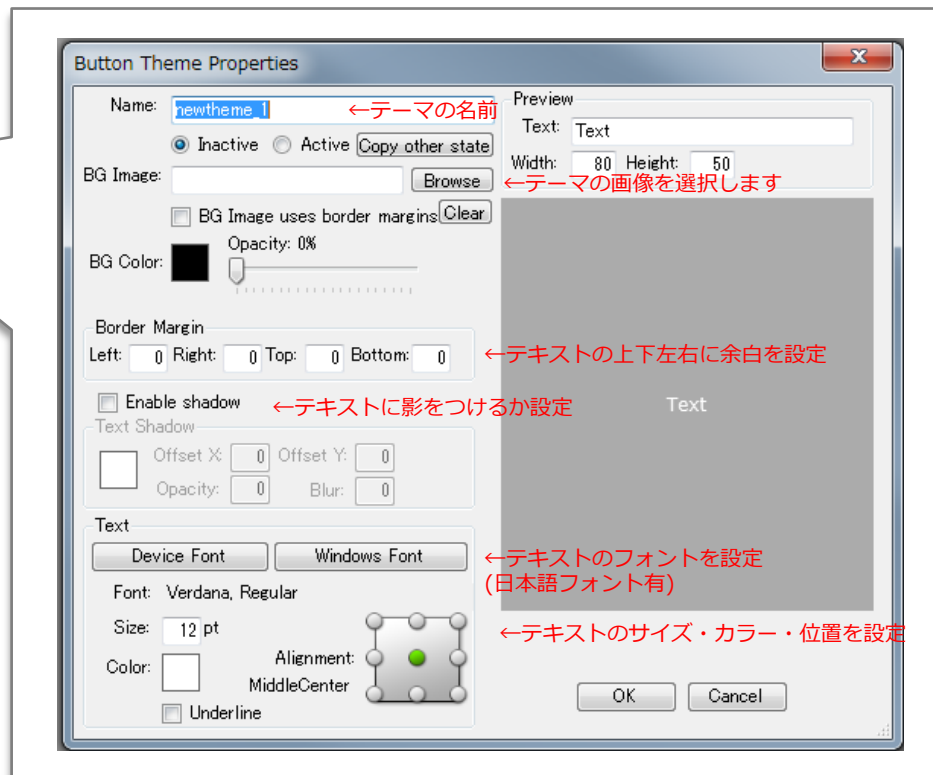
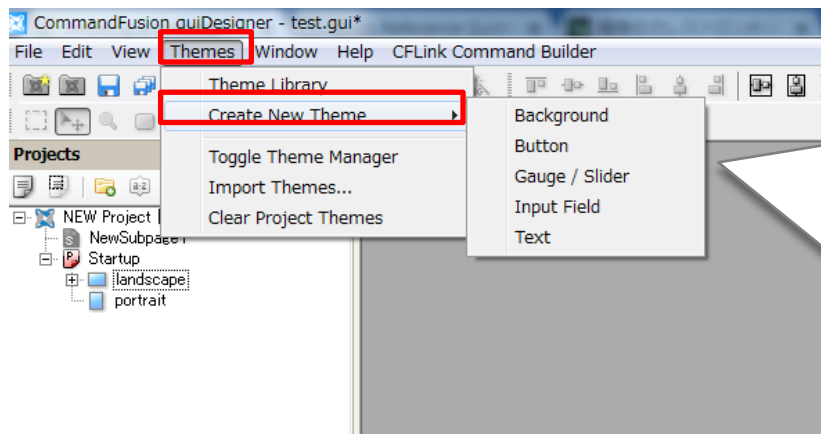


※イメージ・テキストツールも同様に手順で作成可能です

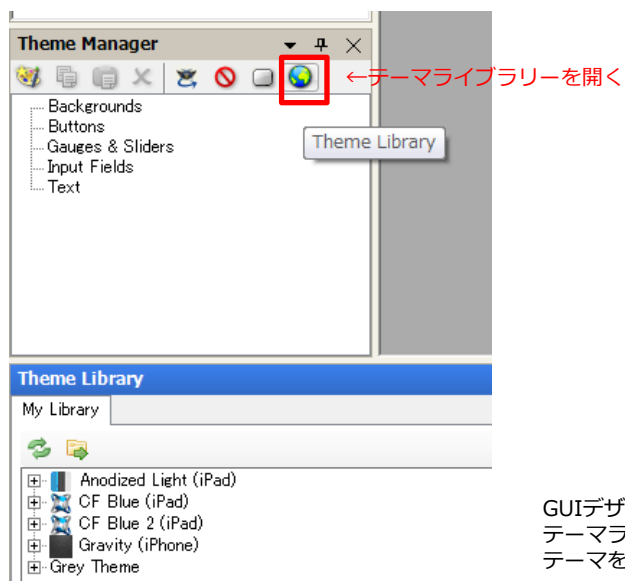
テーマを作成する

背景やボタンなど各種テーマを作成することができます。

※ボタンの場合のプロパティです。
テキスト・バックグラウンドも同様に設定が可能です。



作成したテーマはテーママネージャーより選択が可能です。

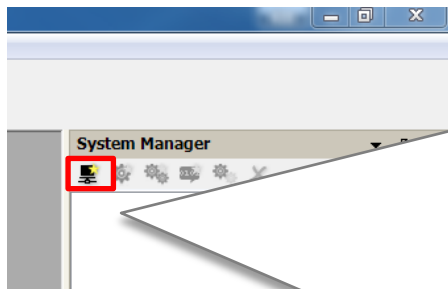


GUIデザイナーにはあらかじめ5つのテーマがテーマライブラリーに保存されています。
テーマライブラリーより、テーママネージャーに任意のテーマをドラッグ&ドロップすることにより
テーマを追加が可能です。

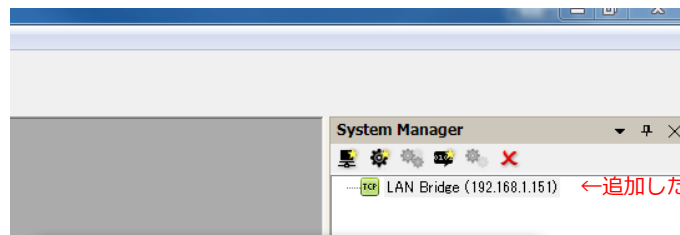
システムを追加する ※クレストロン内のSimple Windowsに該当します

Command Fusionでは、GUIデザイナーのみで画面作成と動作プログラムを行います。
画面の作成ができればシステムを追加します。

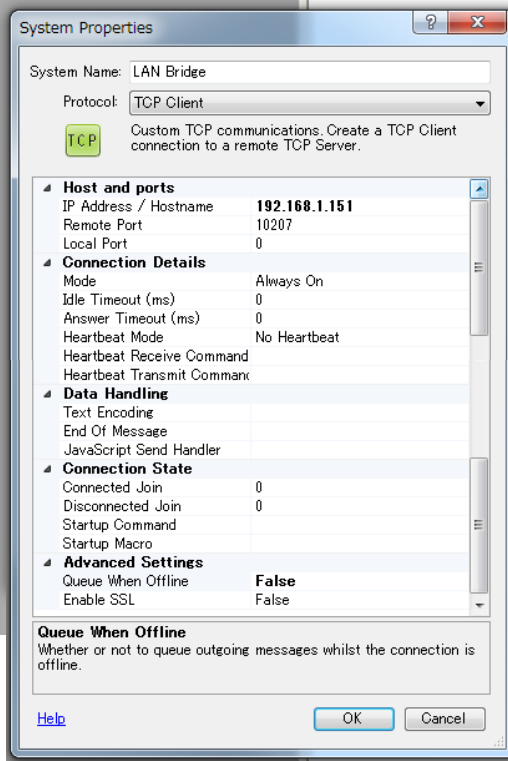
GUIデザイナー右側の「System Manager」
からシステムを追加します



CommandFusionのコントローラーをシステムに追加する場合



←追加したシステムが表示されます



←システムの名前を追加します。 ※任意でわかる名前でもOK
←TCP Clientを選択します

←LAN Bridgeのipアドレスを設定します
←LAN Bridgeのポート番号を設定します(デフォルト10207)

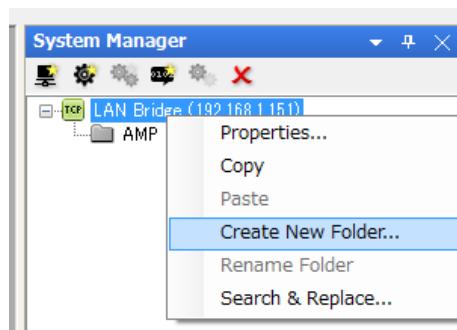
←Always Onを選択します

←必ず「False」を選択します

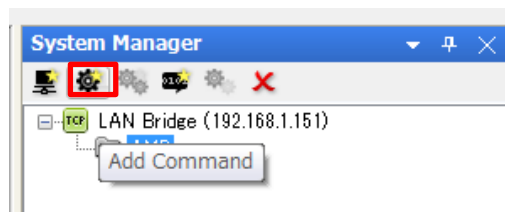
システムにコマンドを追加する

作成したシステムを右クリックし、「Create New Folder」を選択しフォルダ名を入力します。

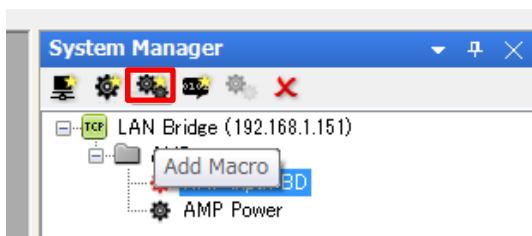
※フォルダ名はアンブやブルーレイなどの機器名など



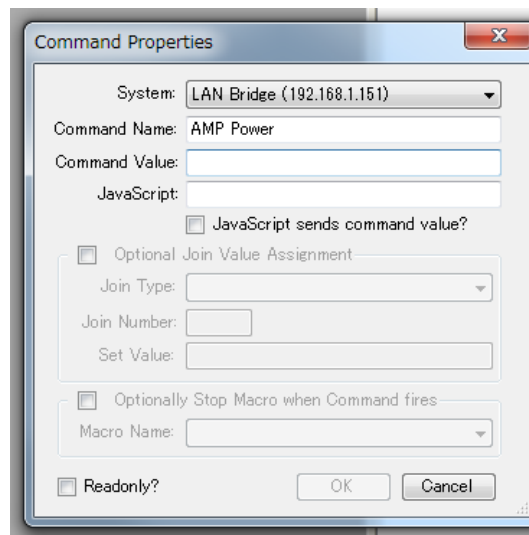
上記で制作したフォルダを選択した状態で、「Add Command」を選択することでコマンドを追加します。



同様に「Add Macro」を選択することでマクロを追加します。

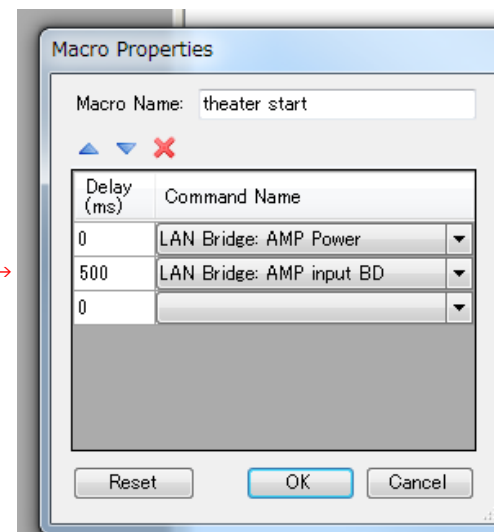


コマンドの追加



←コマンド名
←コマンドを入力します
※システムコマンドよりコピペします

マクロを追加



←マクロ名

←マクロに組み込むコマンドを選択します
(マクロを止めたり、リピートする方法はスクリプトを使います。)

コマンドの間隔を入力→